

地震・津波災害に備える

地震・津波について知り、いざという時の備えを万全にしておきましょう。

地震への備え

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも日頃からの準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

わが家の耐震診断



家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。また、家屋の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。

高い所に重い物を置かない



地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。

燃えやすいものを置かない



二次災害を防ぐため、台所のガス台付近、ストーブのまわりなど、火元となる場所に燃えやすい物を置かない。

家族で話し合い



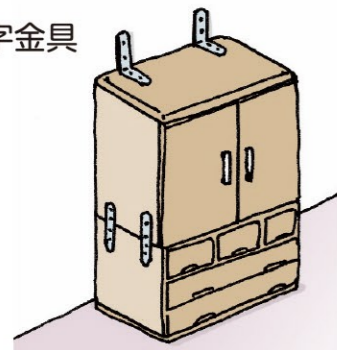
家族の役割分担や、途中で家族が離ればなれになった場合の集合場所も決めておきましょう。

●室内の安全対策

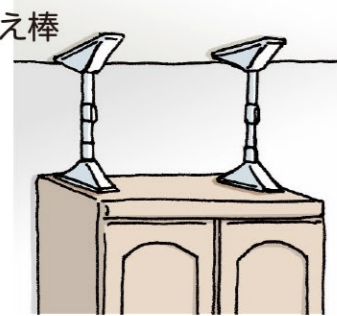
自宅の家具も地震時には凶器となり得ます。家具を固定し、安全対策に努めましょう。

タンス・本棚

L字金具



支え棒



L字金具で固定する。住宅事情により金具が取り付けられない場合は、支え棒が便利です。

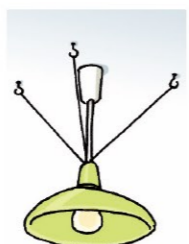
テレビ

できるだけ低い位置に転倒防止マットなどで固定する。



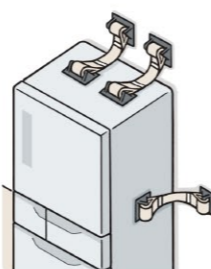
照明器具

チェーンと金具で止める。蛍光灯は耐熱テープで止める。



冷蔵庫

冷蔵庫ストッパーを用いて冷蔵庫の天板、または側板と壁との間をベルトで固定する。



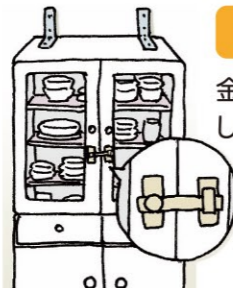
窓ガラス

万一の為に、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。



食器棚

金具などで固定し、滑り止めシートや止め金具、飛散防止フィルムを貼る。



暖房機器

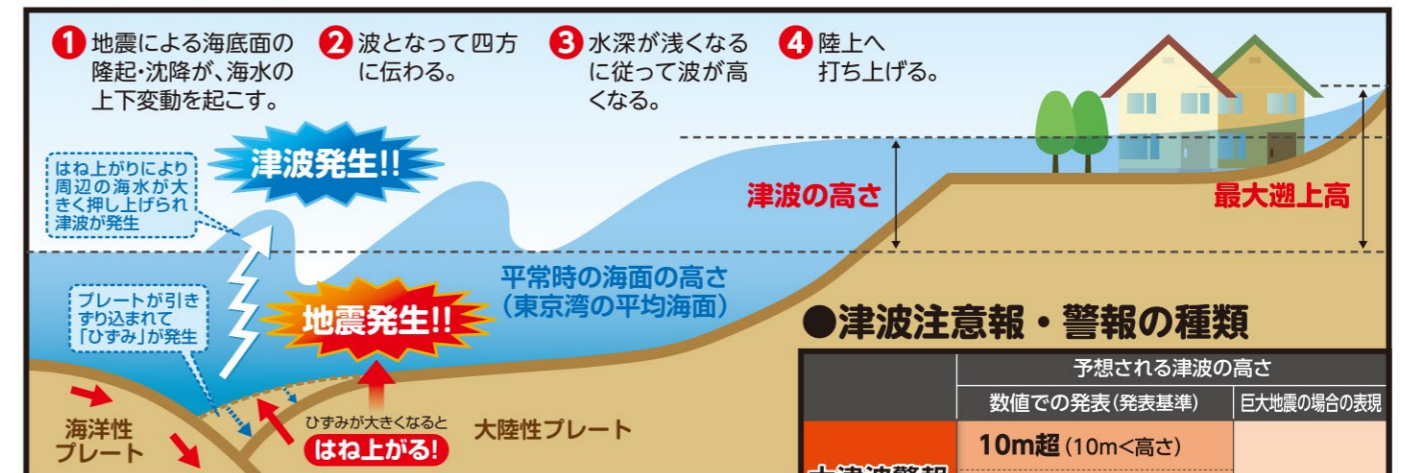
耐震自動消火装置付きのものを。周囲に燃えやすい物を置かない。



津波についての予備知識

海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべりなどが原因で、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。津波は地震だけではなく、海底での地崩れや海底火山の噴火などによっても引き起こされる場合があります。

●津波のしくみ



●津波注意報・警報の種類

	予想される津波の高さ		
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報(特別警報)	10m超(10m<高さ)	巨大	
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	

- 気象庁が発表する「津波の高さ」とは、海岸付近の海面がどのくらい高くなるかをいいます。
- 津波の高さは、海岸や湾の地形によって予想された数倍に達することがあります。
- 津波が陸地を駆け上がることを遡上といいます。この高さを「遡上高」といい、津波が到達した最も高い地点の標高を「最大遡上高」といいます。

●津波の注意点

津波は繰り返す!

津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。注意報・警報が解除されるまでは避難していきましょう。

津波のスピードは速い!

「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあります。

津波の高さに注意!

海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!

津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

満潮時は要注意!

満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

弱い地震でも要注意!

弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。